

(56)

氏名(生年月日)	ナガ 長	ツ 津	マサ 正	ヨシ 芳
本籍				
学位の種類	博士(医学)			
学位授与の番号	乙第1402号			
学位授与の日付	平成5年11月19日			
学位授与の要件	学位規則第4条第2項該当(博士の学位論文提出者)			
学位論文題目	三心房心の臨床病型と外科治療			
論文審査委員	(主査) 教授 今井 康晴			
	(副査) 教授 門間 和夫, 福山 幸夫			

論文内容の要旨

目的

左心房が異常隔壁により二分された心奇形を一般に三心房心(CT)といい、本邦報告例は40余例である。文献的に本症外科治療の予後不良因子は、診断の誤りと、総肺静脈還流異常症(TAPVC)との混同による隔壁の過剰切除であり、隔壁切除が主体の本症と、広い吻合が主体のTAPVCは明確に区別されるべきである。しかし、従来の代表的病型分類は剖検に基づく形態分類であるため、TAPVCや生存不能例がCTとして含まれ、一方、臨床的に心房中隔欠損(ASD)と異常隔壁の相互位置関係を完全には表記し得ない。本論文の目的は、従来若干混乱のみられるCTの臨床病型と外科治療の再構築である。

方法

副腔と固有左房間の隔壁に交通孔が存在することをCT診断の条件とし、血行動態的にCTやTAPVCから分離した。その上で、1974年から17年間の手術自験21例を対象とし、発生学のおよび外科学的見地から検討した。

結果

臨床的に本症症例が病型と重複、欠損なく対応するよう、ASDのないCTをI型、副腔—右房間の高位ASD例をIIa型、右房—固有左房間の低位ASD例をIIb型、副腔と固有左房がともに右房と交通する例をIIc型と分類した。

また、通常心における本症は定型的CT、左右心房形態の不明瞭なisomerism例における本症は非定型的CTと区別した。定型的CTは、I型7、IIa4、IIb2、

IIc1例の計14例。一方、非定型的CTは7例中5例がIIc型で、全例に左上大静脈遺残(PLSVC)を認めた。I型での交通孔開口面積は肺動脈圧と負の相関を示し、50mm²以下では幼児期までに高度肺静脈閉塞症状を呈し、緊急隔壁切除を要した。

考察

発生過程において総肺静脈が開口不十分のまま原始左房を伴って中隔方向に進み一次中隔と癒合し隔壁になると考えると、I、IIa、IIb型の説明はしやすく、大きなLSVC発生過程で原始左房を後方から圧迫して隔壁ができると考えると非定型例がよく説明される。全体としての本症の発生には複数の異常機転が関与している可能性が高い。外科的には、IIa、IIc型では右房到達を選ぶ一方、I、IIb型例では、総肺静脈由来の副腔は心房収縮にも刺激伝導にも関与しないため、不要な心房中隔切開を避け副腔到達を可及的に選択すべきである。

結論

三心房心の臨床病型と外科治療の再構築を行った。

論文審査の要旨

左心房が異常隔壁により二分された心奇形を三心房心とよび、本邦報告例は40余例に過ぎない稀な心奇形である。従来本症には Lucas-Schmidt 分類が一般的に使用されていたが、剖検例に基づく形態分類であるため、総肺静脈還流異常症 (TAPVC) や、生存不能例が三心房心として包括されていた。本症の外科治療の予後不良因子は、診断の誤りと、TAPVC との混同による隔壁の過剰切除であり、隔壁切除が主体の本症と、広い吻合が必要な TAPVC とは明確に区別されるべきである。本論文は副腔と固有左房間の隔壁に交通孔が存在することを三心房心の診断の条件とすることで、本症と TAPVC を明確に分離し、さらに通常心の本症を定型的三心房心、心房形態の不明瞭な isomerism heart における本症を非定型的と分類することにより、外科治療の再構築を試みたもので、学術的、臨床的に価値あるものと認める。

主論文公表誌

三心房心の臨床病型と外科治療

日本胸部外科学会雑誌 第40巻 第4号
473-484頁 (平成4年4月10日発行) 長津正芳

副論文公表誌

- 1) 左側自由壁型潜在性 WPW 症候群の凍結手術による根治例。心臓 18 (1) : 52-57 (1986) 長津正芳, 佐藤禎二, 吉岡幸男, 上塚芳郎, 都筑康夫, 渡辺 直, 河村剛史
- 2) 先天性冠動脈瘻の開口部位別—Chamber 型と肺動脈型—分類と臨床的意義について。心臓 18 (8) : 929-938 (1986) 長津正芳, 中田誠介, 黒澤博身, 高梨吉則, 今井康晴, 遠藤真弘, 高見沢邦武, 中沢 誠
- 3) 小児開心術における COBE 膜型肺 VPCML の使用経験—気泡型人工肺との比較—。胸部外科 40 (2) : 118-122 (1987) 長津正芳, 沢渡和男, 今井康晴, 高梨吉則, 黒澤博身, 中江世明, 星野修一, 副島健市, 杉山喜崇, 吉戒 勝, 青木満
- 4) 腱索断裂による僧帽弁閉鎖不全症に対する外科治療の検討。日胸外会誌 37 (1) : 1-10 (1989) 長津正芳, 中野清治, 西田 博, 今村栄三郎, 遠藤真弘, 橋本明政, 林 久恵, 小柳 仁
- 5) 2歳未満ファロー四徴症に対する Conotruncal Repair 法。日胸外会誌 39 (7) : 1017-1023 (1991) 長津正芳, 黒澤博身, 今井康晴, 中田誠介, 河田政明, 高 英成, 山岸正明, 中沢 誠
- 6) 先天性冠動脈瘻の心電図虚血性変化と手術適応。日心臓血管外会誌 21 (5) : 431-437 (1992) 長津正芳, 黒澤博身, 今井康晴, 遠藤真弘